



立命館大学学友会

2020年度 立命館大学学友会 財政公開

立命館大学学友会 財政・学友会費について

立命館大学学友会
中央事務局財務部・中央常任委員会

承認	第41回中央常任委員会(2020年11月30日)
承認	第16回中央委員会(2020年11月30日)
承認	第42回中央常任委員会(2020年12月9日一部修正)
承認	第17回中央委員会(2020年12月14日一部修正)



学友会とは



立命館大学学友会

立命館大学学友会は、立命館大学のすべての学生が加盟し、学生による学生のための活動を行う、日本最大の学生自治組織です

理念

Philosophy

「想いをカタチに」

学生による学生のための自治組織として、学生生活や学園全体を発展・向上させるべく活動しています。



活動資金

Fund

1.85 億円

学生を対象に、大学より代理徴収された学友会費によって活動しています。



構成員数

Members

約 3.26 万人

立命館大学の全ての学部生約3万2600人が構成員の日本最大の学生自治組織です。



設立

Establishment

1947年

現在の学友会は「平和と民主主義」の教学理念に基づき、戦後に再建された学生自治組織です。



学友会とは

学友会が行う活動は、
大きく6つに分けられます

これら学生による活動を通して
学生の想いをカタチにし、
学園を盛り上げ、
学生生活をよりよくしています

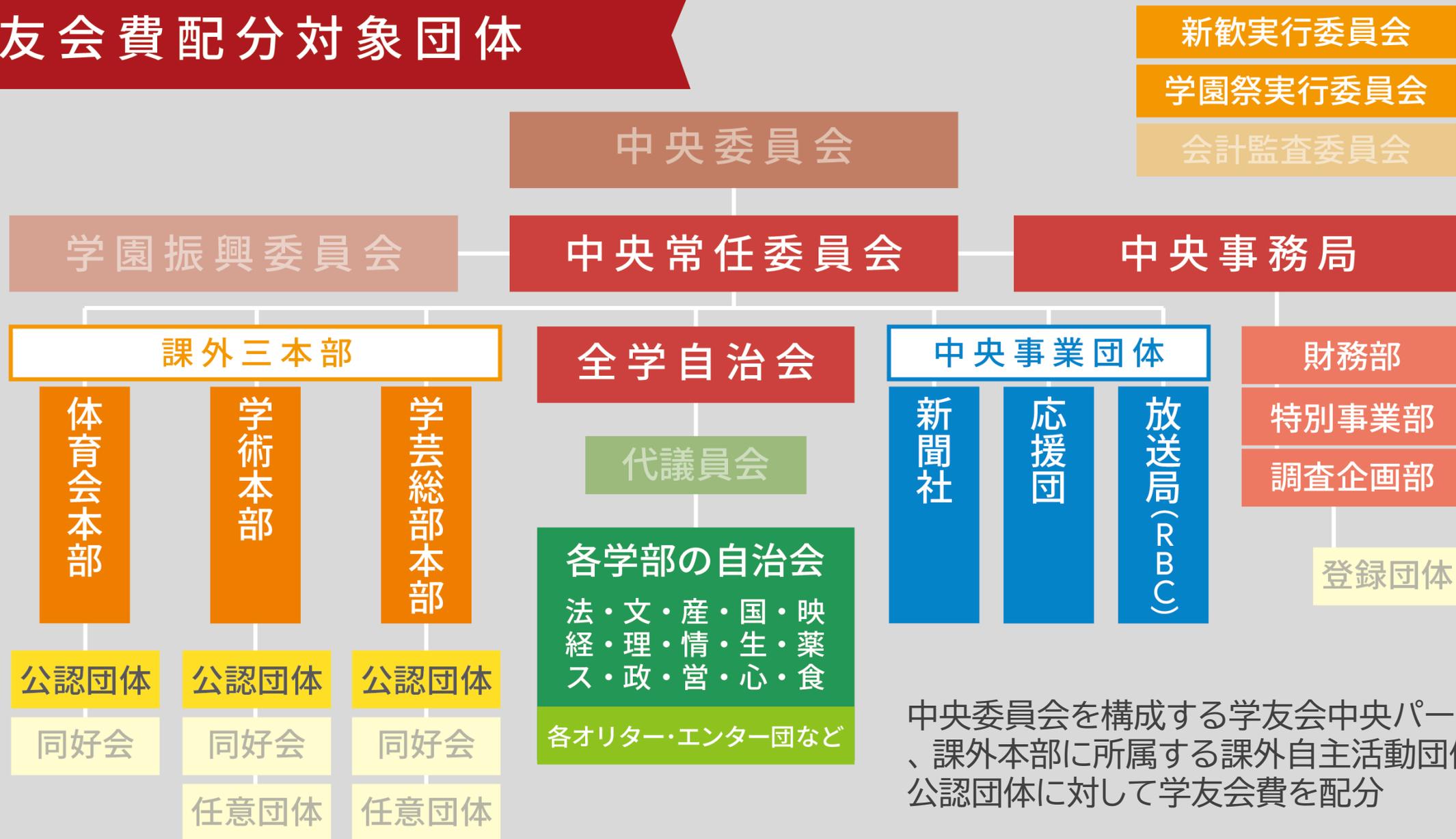


学友会費とは

立命館大学学友会では、学部生のための様々な活動を支えるため、構成員であるすべての学部生から学友会費を徴収しています



学友会費配分対象団体



中央委員会を構成する学友会中央パートと、課外本部に所属する課外自主活動団体の公認団体に対して学友会費を配分

学友会費3原則

- 限りある財源(学友会費:1.85億円)を公平に分配する
- 公認団体を含め課外自主活動団体の自己負担を可能な限り低くする

学友会費 3原則

正当性

学友会費の性質を考えた上で、出金がふさわしいのか

還元性

学友会費を出す学部生に対して還元する企画やそれに付随した活動に利用されているか

透明性(公開性)

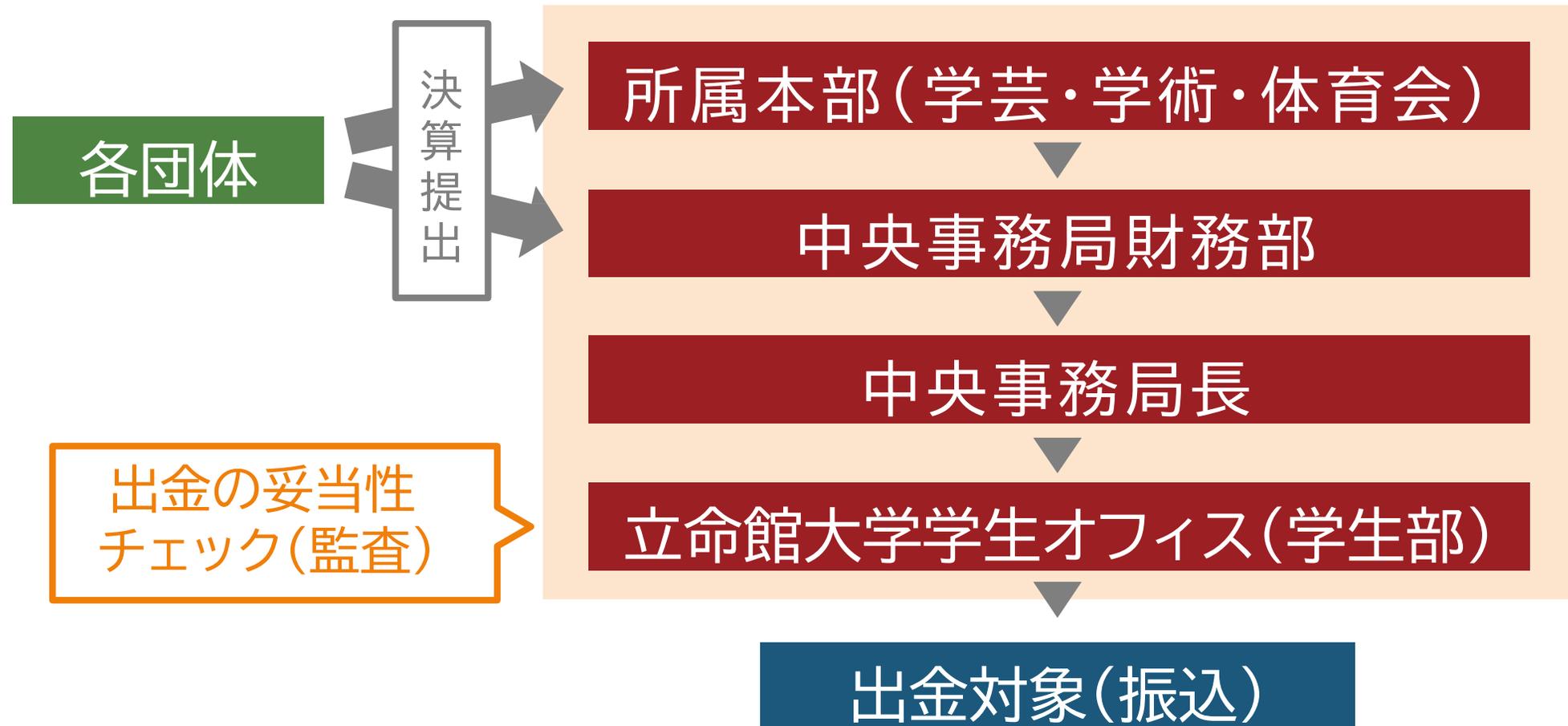
学友会費の使いみちや購入品の利用方法が明確になっているか

学友会費充当可能品目

項目分類名	例	項目分類名	例
消耗品費	事務用品など	手数料	振込手数料など
図書費	書籍、楽譜、CDなど	人件費	講師依頼料など
郵送料	通信費、郵便代など	連盟費	連盟分担金など
交通費	切符代など	宿泊費	宿泊料金
印刷費	業者委託ビラなど	備品費	PC、棚など
使用料	施設利用料金など	修繕費	修理代など
保険料	企画に関わる保険費用		

★飲食費など個人が活用するものは「雑費」にあたり、学友会費充当はできません

学友会費の出金プロセス

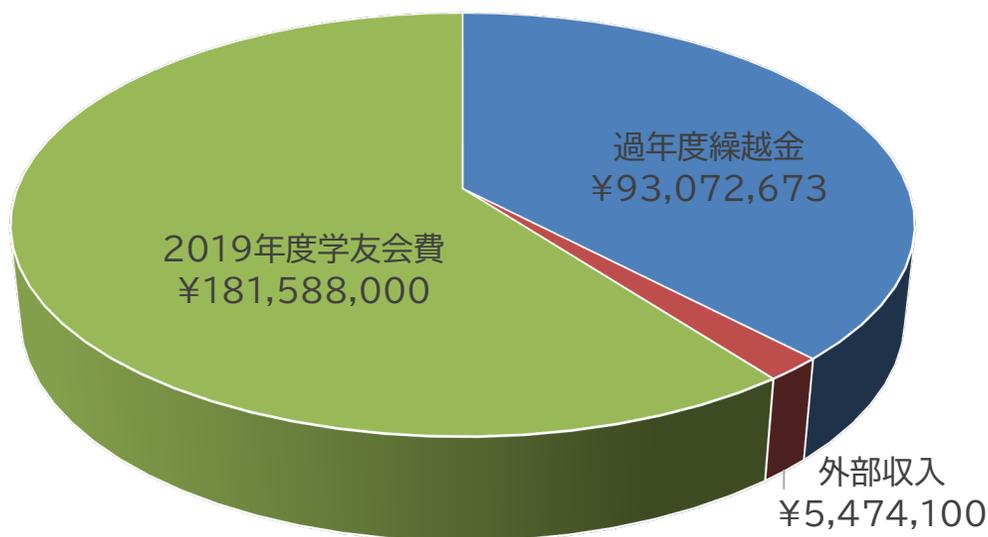


2019年度学友会收支総括

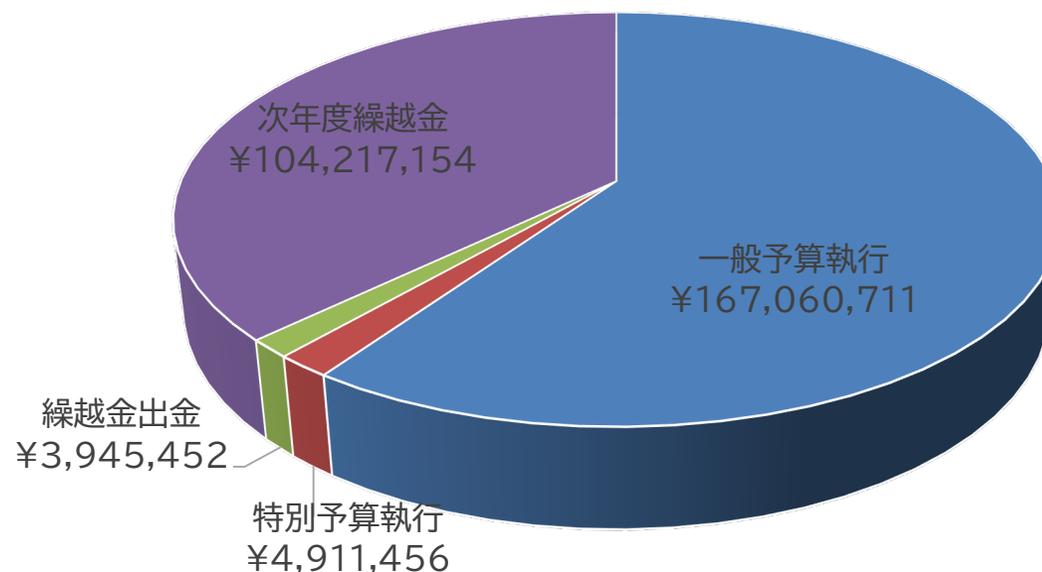
* 詳細は別途資料参照

収支総括

2019年度収入 ¥280,134,773



2019年度支出 ¥280,134,773



- * 繰越金出金：過年度繰越金の出金(不測の事態等による出費) *次項参照
- * 次年度繰越金：次年度に繰り越す学友会費
- * 過年度繰越金修正については別途学友会HPIに記載

2019年度学友会費収入総括

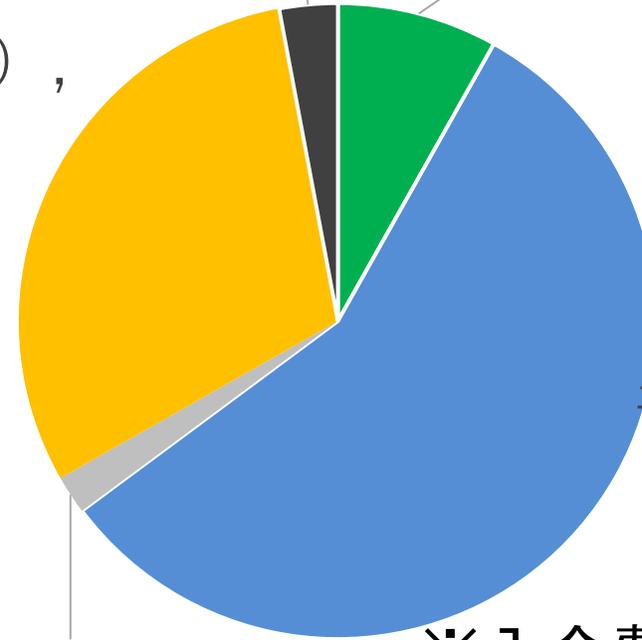
※詳細は別資料参照のこと

収入総括

過年度繰越金（外部収入）,
¥8,273,540

入会費, ¥22,788,000

過年度繰越金（会費）,
¥84,799,133



年会費, ¥158,800,000

外部収入,
¥5,474,100

※入会費・年会費

→当該年度の学部生からの収入
＝当該年度年間予算の支出対象

※過年度繰越金（会費）

→過年度の学部生からの収入
（過年度の学友会費の残余金）

＝中央委員会において、出金が適当
だと考えられる場合に支出の対象

例：予算見積はしていなかったが、
不測の事態により出金せざるを
得ない出費が発生した場合

2019年度予算執行額

*詳細は別途資料参照

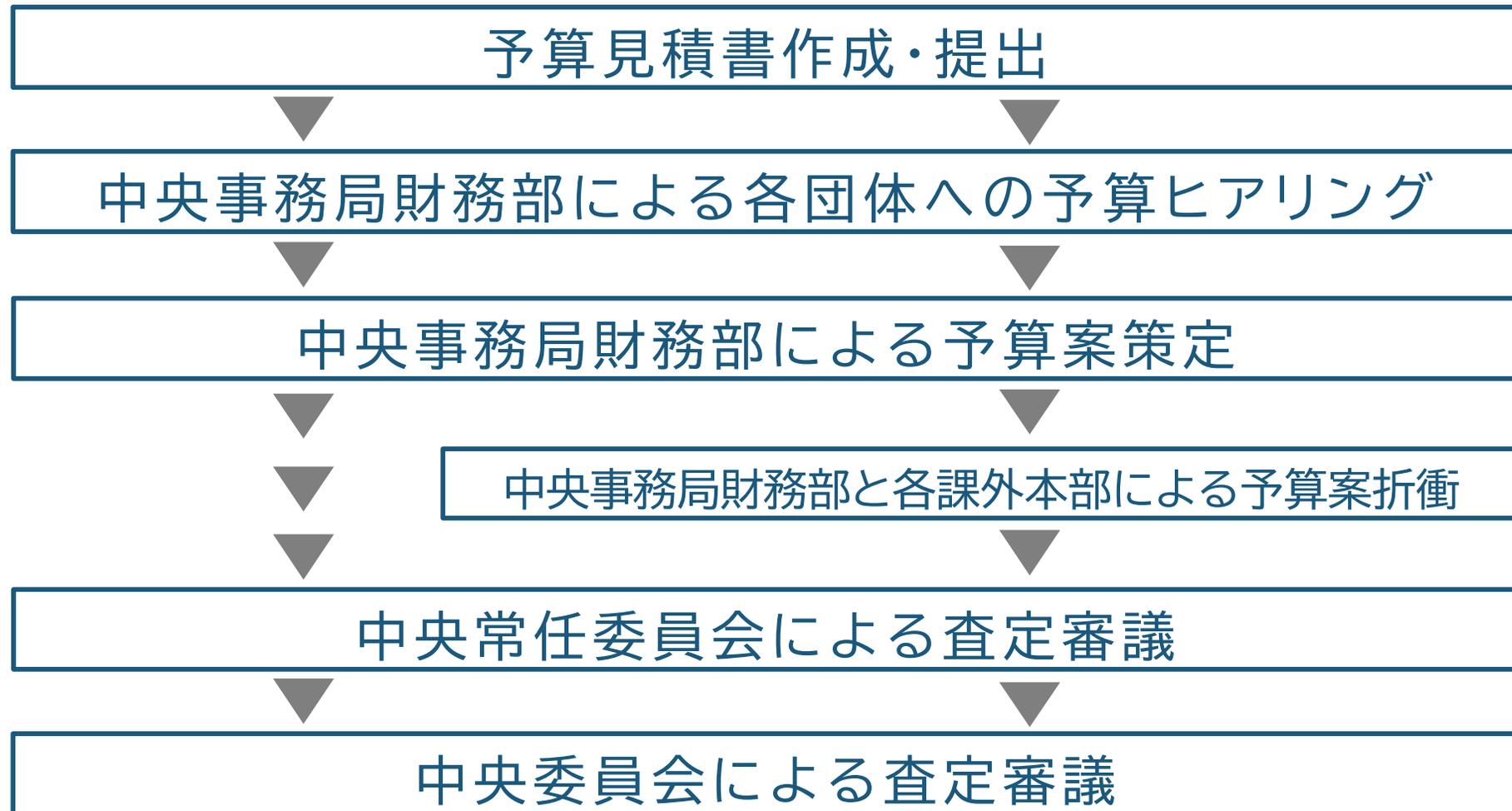
2019年度予算執行額

¥167,060,711

19年度予算からみた予算執行率:92.0%

*各団体の執行率については2020年度予算の策定時にも活動実態として参考になっている

2020年度年間予算の策定プロセス



中央事務局財務部による予算案策定の考え方

- 2020年度年間予算の場合

- 1 予算見積書受理
- 2 団体が活動する上で掛かる費用を把握
- 3 予算ヒアリング実施
- 4 団体が活動していく中で学友会費において出金(助成)されるべき費用を算出
- 5 前年度実績や予算(学友会費)総額を考慮して調整

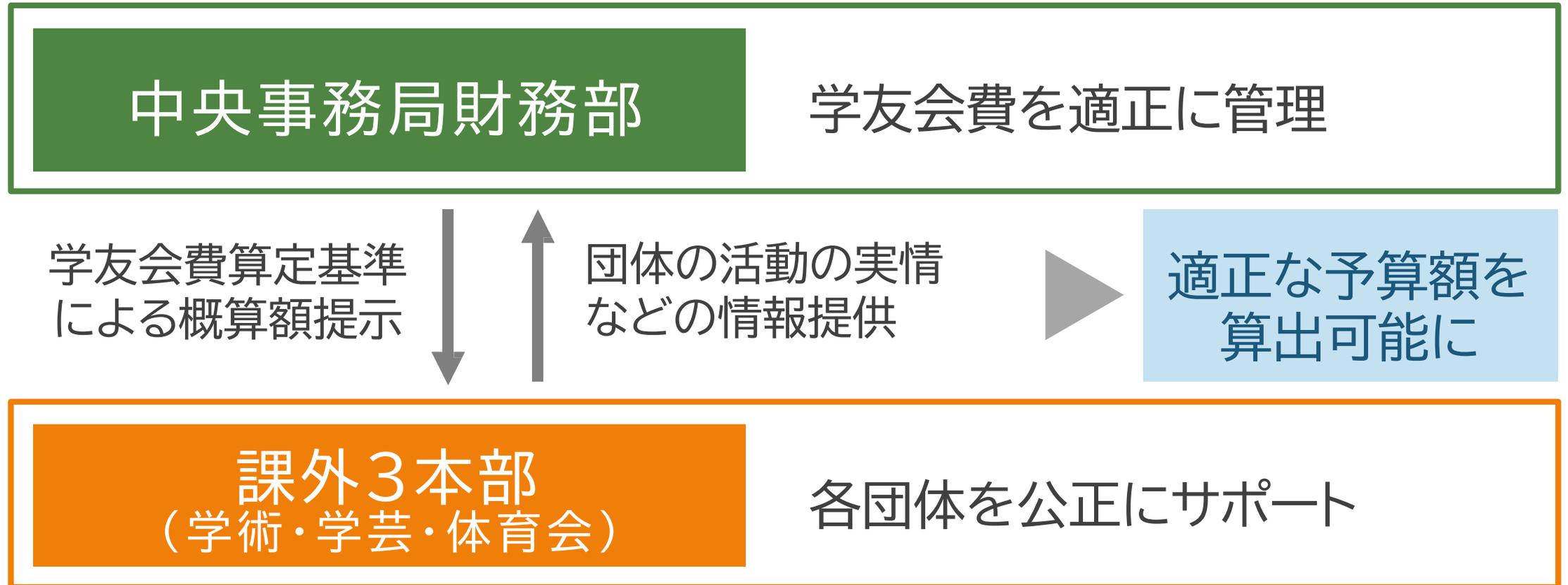
中央事務局財務部による予算案策定の考え方

前年度実績や予算(学友会費)総額を考慮して調整

- 予算には限りがある→どのような団体にこそ学友会費は使われるべきなのか
 - 学生への還元を積極的に行っている団体
 - ✓ 還元を測ることはできないが、予算執行率や活動実態など与えられた予算の活用状況を評価の対象に
 - 自団体の当該年度活動を見通すことができている団体
 - ✓ 過大見積もりに対する厳正な対処の実施
 - ルールを遵守できている団体
 - ✓ 締め切りなど最低限のルールを守っていない場合は減額対象

予算における課外本部と中央事務局の位置づけ

中央事務局財務部と各課外本部による予算案折衝



予算の変更(補正予算)について

第1次予算

第1次予算の策定・中央委員会における承認 | 2020年3月30日

- 公認団体以外の団体予算決定と公認団体合計の予算の決定

第2次予算

第2次予算の策定・中央委員会における承認 | 2020年6月30日

- 公認団体予算の確定

第3次予算

第3次予算の策定・中央委員会における承認 | 2020年11月18日

- 学園祭の中止と特別支援事業実行委員会の設立に伴う特別予算の変更

Ⅱ部凍結金について

Ⅱ部凍結金 ¥136,190,696

…Ⅱ部学友会における残余金

Ⅱ部学友会

立命館大学にはⅠ部(昼間制)・Ⅱ部(夜間部)の区分が1996年まで存在し、2007年の夜間主コースでの最終講義まで、昼夜開講制であった。当時、Ⅱ部にも「学友会」が存在し、現在と同様に新歓運動や課外活動支援を行い、Ⅰ部学友会とは別に予算運用・学友会費徴収を行っていた。

2001年、Ⅰ部学友会・Ⅱ部学友会が統合し、現「学友会」の形となった。Ⅱ部の廃止に伴い、Ⅱ部学友会費の残余金が凍結金とされた。

凍結金出金ガイドライン

Ⅱ部の学生から集めたお金であるために、現・学友会の年間予算の一部として利用するのは適切でないことから、2018年度に定めた、出金のためのガイドライン。「学生生活全般の発展向上に努め、併せて学園の発展に寄与する」ことを目的とし、学園の振興により学生生活水準を向上させるものとしている。

- *繰越金→当該年度の予算での出金が不適當な場合
- *凍結金→実現可能性の観点で出金が難しい場合の出金が想定される。

*2019年度は「凍結金」による出金を行っていないため、収支総括には含めていません。